



# おくさわ今と昔

## 60年前の奥沢

奥沢2丁目 お話 中島郁代  
聞き書き 杉村捷子

昭和15年本郷から奥沢へ、役人をしていた中島のところに嫁いで来ました。主人は一人で庭に芝生を植え、築山・池・藤棚を作り、何種類ものバラと木苺の垣、横板をひだのように重ねて門柱まで作っていました。梅・もみじ・椎等、共に74年過ごして来ました。畑や野原があちこちにあり今の交和会館の場所は駐在所で、ご近所には海軍さんが沢山住んでおられました。主人の母と妹が御近所づきあいを一手に、私は子育て。浴衣をほどいておむつを作る、大人の着物もすべて洗い張り又縫う、時にはふとんに作り替える、保存食も皆手作り、風呂は練炭で焚きました。原米屋さん、森田屋さんから毎日御用聞きが来てくれました。

昭和14年義妹は嫁ぎ、義母は熊本の長男宅へ帰りました。戦争がひどくなり4子・5子が生まれ、配給を取りに行くのに御近所の方々をほとんど知らず往生しました。熊本風なのでしょうか「嫁は外出しないものだ」と3人からよく云われていました。

忘れもしない昭和20年5月25日、最後の大規模な東京空襲で現在の奥沢保育園辺りから緑が丘駅までの一帯が焼夷弾の攻撃で焼け野原となりました。我が家の敷地内には6個の焼夷弾が落ちましたが幸運にも一部が壊れたくらいでした。職人が作ってくれた大きな防空壕に御近所の方々や縁のある人達と入り、B29が過ぎ去るのを待っていた事等忘れることができません。戦中・戦後我が家も御近所も、庭やそのお宅に面した道の側で野菜を作っていました。自分で作る野菜はとてもおいしいのですが石井さんのおじいさんにおしえて頂いてからは、人様にも少しわけられるぐらいに味も見た目もよく出来るようになりました。家の西側の小径や八百屋さんの酒匂さんの裏のあき地、保育園の東側の小径には疎開から戻った沢山の子供が毎日暗くなるまで遊んでいました。貧しいけれど活気あふれた時代でした。昭和40年頃皮膚科の林先生を受診した夫が、先生が八幡小に登下校の折垣根の木苺をよく食べたことが話題になり、「あ、お宅だったのですか」と治療費を少し安くしてくれたというたのしい話をしてくれた事もあります。

孫12人ヒ孫9人に恵まれ、思い出の木々や緑に囲まれて、夫や義母に感謝しつつのんびりした日々を過ごしております。

●奥沢・自由が丘あたりの古い風景が写っている写真をお持ちの方はご連絡下さるようお願いいたします。

●このシリーズへの御投稿をお待ちしております。お話をお聞かせ下さる方にはうかがいに参ります。

このシリーズでは奥沢に長くお住まいの方と新しく移ってきた方々など、毎回2人の住民の方が登場し、このまちにちなんだエピソードを語っていただきます。

## 品品は奥沢から発信

奥沢2丁目 品品（しなじな）小林健二

平成14年11月14日に、品品は奥沢にOPENしました。その前は、空間構成の勉強の為、アメリカのオレゴンに約1年程、盆栽の勉強をしてきました。その後代官山で、茶の湯の伝統を現代に蘇らせ、緑を中心に生活のインテリアとして盆栽の手法を用いた形で表現し、掌に乗る自然から庭までを創るディレクターとして勤務していました。独立する為、お店を構えようと店舗探しにいろんな町や場所を見て来ましたが巡り巡って、自分達が理想とする場所、仕事ができる環境にピッタリの場所を奥沢で見つけることができました。夏の暑い季節で、緑ヶ丘駅からお店にぶつかる道を汗だらだらになりながらも、町並みの豊かな緑と行き交う住民のみなさんの笑顔を、スタッフ一同喜んで眺めていたのを思い出します。

私はアメリカや代官山のお店に勤務する前は公園や緑道、都市計画までの設計をしていて、人と自然にやさしい町づくり等の設計に携わっていたので奥沢の町並みに少しでも緑をとっています。品品は現代の生活に、人と植物を結び付ける事によって心を豊かにする事を信念に営んでおります。開店してからは、看板も窓の下にちょこっとあるだけなので、立地条件的にもお客様は入らず、都内の雑貨店から百貨店での販売や庭工事、教室などで営んでいました。始めたばかりなので毎月お店を続けるだけでも大変でしたが、近所の方々、奥沢の周辺の方々に助けられ、除々に浸透して来た感じです。教室に通ってくる生徒さんにも「静かで良いですね」、「緑が多いですね」等うれしい言葉を聞けて、ここでよかったとしみじみ感じています。品品も胸をはって奥沢にお店がありますと言えてうれしく思います。

開店からまだ1年8ヶ月ですが隠れ家的存在のお店として雑誌やラジオ、TVでも最近取材も多く、今度はNHKおしゃれ工房(7月27日)にも出演します。閑静な住宅街である奥沢から品品は常に品(ひん)のある品(しな)を全国に送り届けたいと思っております。

昭和20年代まで奥沢にあった火の見櫓(場所をご存知の方はお教えください)



# 人生に大切なこと



昭和13年に会社を設立して今迄65年、一貫して食の事を取り扱ってきました。近年食に関する問題がいろいろ出てきたのを見て、これだけの食の乱れの中で一つの企業として仕事をしているだけでは申しわけないと考えました。私の考えている食の問題を皆さんに意識して頂き、改善できないかと真剣に取り組み研究を進めています。

さて本題です。私は今、端的に云ってこんにちの日本は大丈夫なのかと危惧しています。中でも心配なのは、次の時代を担う若い人がどういう社会意識をもっているのかという事です。私が、世間に通用する従業員を育てる教育に力を入れながら考えている事は、一般的に正しいと認められて、これを広めたいと云われました。その一例が税務署です。先日税務署に頼まれて税のあるべき姿について講演しました。

今日多くの、官の組織は伏魔殿の状態で、政治でも経済でも一番大切な事は国民に隠している。まじめな役人は悩んでいるが、組織で働くと、思っているも云えない事が多くて、悪口を云うわけでは無いが、状況がおかしくなってしまったのです。

戦後アメリカの方針に従って自由主義になったが、自由のうしろにある義務と責任が無い。今日の若者のお母さんもそのお母さんも責任の無い自由のみで生活している。これでいいのか、日本は大丈夫かと心配しているのです。これを直せないかと考え、この1年多くの著名な識者に会いました。一番身近なところでは日高義樹さん（日本人が知りたくないアメリカの本音の著者）です。この方は私がいかにきちんとな税しているの心配して下さいました。私は誠心誠意働いて正直に税金を出した残りは、無駄に使わず会社で65年積み立てました。考えればこれは従業員がやってくれた有形無形の努力の結果で、これをどのように有効に置いていくかを考えた末、江東区に食の研究所をつくりました。今日は其処で食育のための食事体験会が開かれています。

日本はアメリカに対してきちんと自分の意志を貫いていかなければなりません。国連でも日本は世界一お金を出しているのだから、我々が本気になって主体的なしっかりした考えを持たなければなりません。社会保障の問題でも郵便局の特別会計等の問題でも、政治家は、しがらみの中にいて今すぐにこれを無くす事はむづかしい。これらを変えていくにはどうすべきか、真剣に考えました。これは善良な人々との連帯で草の根式に拡め、次の世代の人々に譲っていかなければなりません。

人が自信を持って世の中に生きて行くには考え方のよりどころが必要になります。私は18才の時人生の転機をつかみまし

# 一関誠三郎さんの講演一

た。80才の時、キリストや釈迦の教えは普通の人間では守れないことに気付き、実践している人の教えを漁って読み記しました。現実の問題に当たった時、これだと気付くのです。（以下参照プリントの要旨）

1) 私達の人生はある確かな法則に従って創られ、どんな策略を用いようとその法則は変えられない。

2) 人は誰でも心の中で考えているとおりの人間である。私達の行いも心の中で密かに巡らされる“思い”という種から芽生え、行いは思いの花であり、喜びや悲しみはその果実である。

3) 心の庭は、知的に耕されれば清らかな正しい思いを植え付け育てられる。野放しにされれば雑草が生い茂る。人生は心なり、生活は習慣なり、継続は力なり（関さんのモットー）

4) 心の中に蒔かれたか落下した“思い”という種は、すべて同種を生み出す。良い思いは良い果実を悪い思いは悪い実を結ぶ。外側の環境は心（内側）に合わせて形づくられる。

5) 私達が手にするものは、願ひ祈るものではなく公正な報酬として天の理に従って受けるもの。

6) あなたはあなたがなろうとする人間になる。卑しい心と気高い心の交錯する遅々とした歩みの中で忍耐を崩さず、現実を理解して待つ。気高い心が立ち上がり、命をかけて実践するならば、神々はそれに応える。

これは何の宗教でもなくて哲学です。信じるものがあって人間は強くなれるのです。人によって考え方は違うと思うが、参考にして頂ければと思います。物事は裏と表で見方の差があり、自分が正しいとは限らないので聴く耳を持ち人の意見を理解することが大切です。若い社員を呼んで勉強するというような意見が聞かれます。

「企業倫理」はバブル期の高度成長によって失われました。今心を新たにして日本の現状を正しく認識し、すべての日本人が各自の会社との接点で倫理を実行する外、日本を安心と幸福に導くすべは無いのです。人生の目的（五木寛之）わたしの幸福論（曾野綾子）日本の敵は日本人（前野徹）日本のかたち（櫻井よしこ）の本も参考にお読みになると良いと思います。（柳島）

1911年生まれの93才という関誠三郎さんですが、お顔は艶やかで姿勢も良く張りのあるお声はとても年令を感じさせないお若さでした。頂戴した著書の中の“およそ母親としての仕事で「自分の子どもの正しい心作り」より大切な仕事があるだろうか”“歪められた心の欠陥は、学校制度の改革や外部からの抑圧によって是正することは殆んど望めないと思う”“知識教育の効果的方法を論じる前に、修得した知識を如何に正しく社会に活用すべきかの心の基本教育が、幼少時・小中学校を通して大切ではないか”等々の言葉も身に沁みました。

## グリーンサムのお庭拝見 Vol.15

梅雨入り宣言の出た日に傘を片手に歩いていると左に緑の屋根とレンガの門が見えてくる。今回は「自分のために、道行く人のために緑が多いのはいいでしょ」と家の囲いの外の庭を楽しむ東玉川1丁目28番地の宮原家を訪問しました。

まず左の門柱の上に乗っている宿根草のピンクのネメシアが2鉢と右側にパンジーが1鉢。門扉に絡みついているブラックベリーは黄緑の可愛い実をつけている。塀にはミニバラ、ブラキカム、ロベリアなどが植えてある10鉢以上のハンギング・バスケット。道路敷には大小50鉢以上の素焼きの植木鉢にゆったりと植えられているベゴニア、トレニア、サフィニア、ブッドレア、クレマチス、アジアタム、ラベンダーなど。土とみどりを守る会のシンボルフラワーのチェリーセイジも1鉢。

スイカズラの一種のツキヌキニドゥは和洋2本あり細長いオレンジ色の花をつけていてここで終わりとなる。

春秋に草花を取りかえて暇日の午後1時から5時頃までに手入れをし、犬猫のことは気にせず「自然に」と心がけている。そして草花に「よく育ったね」と話しかける。時として通って行く人達がいつも楽しみにしていますとか、きれいですねと行って足を止めるので花談義になる。

そんなある日「花がああして欲しい、こうして欲しいと言うんだよ」という話を聞く。

宮原さんはしみじみと言いました。「その時に私も花の気持ちがわかるようになりたいと思ったわ」と。やさしい風が草花の周りに吹いている爽やかな外庭でした。(遠藤)

## 樹と人と

推奨樹木の持ち主の方に、木にまつわる話・木への思いを語っていただくコーナーです。(毛利)

### スタジイ+平井弘さん(奥沢2丁目30番地)

「我が家の庭のしいの木は70年以上は経ていると思われまます。特に肥料はあたえていません。先日カラスがハンガーをくわえて巣作りを始めた時に植木屋さんに取りはずしてもらいましたが、その後もカラスは鳴いて騒いでいました。頭のよい鳥ですから巣が無いことを確かめにきたのでしょう。以前に住んでいた方がこの木の下に防空壕を掘ったと伝え聞いています。」今は木の周辺には土が盛られ、陽射しをいっぱい浴びて静かな落ちつきを感じる樹木でした。



### イロハモミジ+柳瀬義男さん(奥沢1丁目12番地)

「自宅玄関前にあるイロハモミジは樹齢200年と言われています。

春の新芽の頃、通路や車の上にベタベタした樹液が落ちて大変ですが、四季折々に美しい景色を見せてくれます。紅葉の頃は格別な美しさがあります。

道行く人々を楽しませ、風や鳥の媒介でこの木の周辺に種がまかれ、成長し子供のモミジが数本はえていました。ご近所の方々から「いただきたい」と言われる程、大切にされ、喜ばれています。美しい姿をいつまでもみせて欲しいと願っています。」



## 会からのお知らせ

会のホームページ：<http://urbanecology.jp/tsuchimidori/>

●土とみどりを守る会は、「風景づくり団体」として世田谷区に正式登録されました。世田谷街並み保存再生の会などと共に、5団体が3月31日に世田谷で最初に登録されました。

●土とみどりを守る会の第2回総会が5月15日に開かれ、議事が承認されて、会員制に移行してから2年目の活動に入りました。今年もよろしくお申し込み申し上げます。

●定例理事会で今年度のつどいが次のようにきまりました。9月—食のセミナー・10月—せたがやの緑をたづねるウォッチング・1月—新春のつどいです。

●9月の食のセミナーは、5月のつどいで講演をなさった関さんの第一食育研究所(江東区千石、錦糸町下車)に出向き、おいしくて経済的で安全でその栄養価の高い食事についてのお話と見学の後、体によい食材を使って調理した食事の試

食をする催しです。9月11日(土)10時30分緑が丘駅集合、定員30名で申し込み順に受けさせていただきます。

ご希望の方は連絡先までお電話下さい。

●10月のウォッチングは、都立園芸高校に出かけます。くわしくはちらしでお知らせします。人数制限はありませんからどうぞお出かけください。

●新年度の会員を募集しています。すでに多くの方々にご協力を頂きましたが、新たに御入会下さる方、引き続きお願いできる方、ご連絡をお待ち申し上げます。

### 土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢2-19-9 長瀬雅義 5729-0126

世田谷区奥沢2-41-2 柳島尚子 3718-8558